



令和8(2026)年度のEPO業務 事務局案 説明資料

2026年5月29日

第1回 EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会

中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部) / 中部地方ESD活動支援センター

■ EPO業務2026の主催イベント案

EPO中部企画

区分	エリア	設営	時期	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等
4-1 中間支援セミナー	配信会場：名古屋市内	オンライン配信・会場登壇	12月予定	地域循環共生圏づくりの成果と中間支援の取組評価（仮）	<ul style="list-style-type: none"> 基調講演…東京都市大学・佐藤先生 取組紹介…共生圏事業中間支援団体等 トークセッション登壇…活動評価手法検討WKGメンバー など

事務所連携企画

区分	エリア	設営	時期	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等	
対話の場づくり実践	3-1-3 相談対応からの発展、過去業務フォローアップ等	長野県飯田市？ 未定				
	白山企画1	白山国立公園エリア	未定	未定	白山における携帯トイレ利用の定着に向けた意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> 担当…白山自然保護官事務所 など
	愛知EXPO出展	愛知県常滑市	リアル	11月7-8日	ブース出展（パネル展示、クイズ）、ワークショップ、着ぐるみポジー運営など	<ul style="list-style-type: none"> 担当…地域生物多様性増進室
自然資本	3-1-4 なごや環境デー出展	愛知県名古屋市	リアル	11月21日	ブース出展	<ul style="list-style-type: none"> 担当…地域生物多様性増進室
	白山企画2	白山国立公園エリア	リアル	未定	白山及び白山国立公園についての子ども向け学びイベントなど	<ul style="list-style-type: none"> 担当…白山自然保護官事務所 など
8-4 環境白書を読む会	中部	ハイブリッド	7~9月	令和8年度白書の概説 + 取組紹介など？	<ul style="list-style-type: none"> なごや環境大学との連携？ 	

■ EPO業務2026の主催会議・会合等案

業務区分	エリア	設営	時期	参加者数想定	テーマ/内容等	連携先/関係者/登壇者等	
4-2 協働コーディネーター意見交換会	名古屋市内	リアル	7月27日	9人	地域活動主体の課題、中間支援のあり方・ヨコ展開の可能性	・ 協働コーディネーター9名、及び候補	
活動評価手法検討	WKG①	富山	リアル	6月19日	3人	中間支援機能の評価方法	メンバー（継続）： <ul style="list-style-type: none"> 古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター長 水上聡子 アルマス・バイオコスモス研究所代表 堺勇人 PECとやま事務局長
	WKG②	(福井)	リアル	9月頃	3人	活動・中間支援の評価ツールについて	
	WKG③	(名古屋)	リアル	12月頃	3人	検討WGとりまとめについて	
共生圏事業	5-2 中間共有会	福井県越前市	リアル	9~11月	30人	<ul style="list-style-type: none"> 中間共有会 視察エクスカージョン 	・ ホスト地域：PF丹南（エコグリーンツーリズム水の里しらやま、ローカルSDクリエーション）
	5-5 審査会	—	未定	3月	—	令和9年度共生圏事業の審査会	・ R6-8共生圏事業関係審査会の審査委員？
ミューニティ創設官民連携	有識者検討会①	名古屋	ハイブリッド	7月	5人	創設コミュニティのあり方検討	<ul style="list-style-type: none"> 有識者5人 ヒアリング5件/人
	有識者検討会②	名古屋	ハイブリッド	12月	5人	創設コミュニティの概略検討（ヒアリング結果等の報告と創設素案協議）	
	座談会	名古屋	リアル？	10~11月	クローズド？	地域循環共生圏づくり推進のために必要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> 上記有識者・ヒアリング対象者 2025年度開催共進化フォーラム登壇者等

■ EPO業務2026 ヒアリング予定案

業務区分	ヒアリングの対象	内容等
5-5 【未】 共生圏事業R9審査会	<ul style="list-style-type: none"> • R9共生圏事業応募団体 	<p>【仕様書より】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 審査会に向けたヒアリング、プレゼン等の機会を設ける
5-4 中間支援の担い手ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> • 3件 • 地域循環共生圏づくりやその中間支援の担い手 	<ul style="list-style-type: none"> • R9事業応募団体の掘り起こし • 地域循環共生圏づくり／ローカルSDGs実践／地域支援への取組意欲、展開のための支援ニーズ • EPOパートナーとなる可能性など
5-6 多様な主体による官民連携コミュニティ創設	<ul style="list-style-type: none"> • 5件 • コミュニティ参加が想定される主体 • 有識者検討会を補完する内容の聴取 	<ul style="list-style-type: none"> • 有識者検討会①を受けてヒアリング対象を抽出 • 座談会にも適宜、ヒアリング対象者も出席 • 有識者検討会②でヒアリング結果を共有 など
7 主催行事等による行動変容ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> • 6件 • EPO・ESD業務の主催行事に参加、協力した主体 	<ul style="list-style-type: none"> • 主催行事によりどのような変化があったかを本業務の成果としてとりまとめる • 1月までに4以上件実施

■ EPO業務2026の作成・公開ツール等案、その他

業務区分	作成／対象メディア	内容等
4-3 協働コーディネーターの 取組支援 映像資料①②	Zoom登壇を収録→YouTube動画製作	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度製作・公開した協働コーディネーターによる取組紹介の第2弾・第3弾（残り計7名分）⇒ローカルSDGs実践及び中間支援の事例動画として製作・公開予定
4-3 協働コーディネーターの 取組支援 紹介ツール	名刺サイズのカードを想定	<ul style="list-style-type: none"> 協働コーディネーターのリストと共に、上記取組紹介動画のリンク先QRコードを掲載したチラシ・名刺代わりのカードを作成
4-4 活動評価有識者WKGの 成果まとめ	A4文書、スライド形式を想定	<ul style="list-style-type: none"> 活動・中間支援の評価ツール、解説書等
	アプリ	<ul style="list-style-type: none"> オンライン上で活動評価チェック入力、AIによる総合評価の出力など ⇒後々「官民連携コミュニティ創設」業務への活用を想定
その他 (オフィスの移転対応)	<ul style="list-style-type: none"> 三つ折りリーフレット ウェブサイト (EPO・ESD) SNS (Facebook、Instagram) ほか、名刺、封筒等々 	<ul style="list-style-type: none"> EPOオフィス移転（6月12～15日引っ越し等作業）にともなう住所変更の修正対応、移転・新住所の案内告知の掲載など

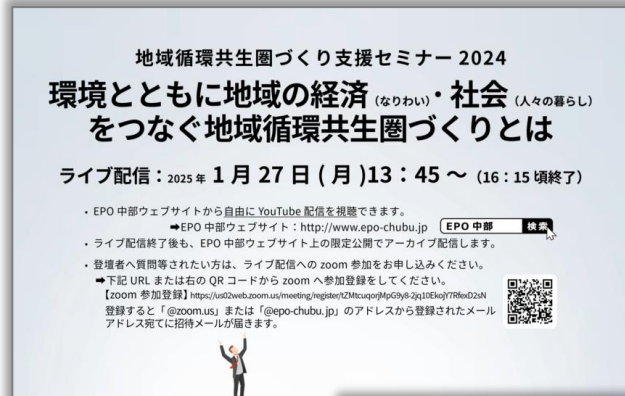
主催イベント・会合等 (EPO中部単独企画のもの)

■ 中間支援セミナー：地域循環共生圏づくり支援セミナー2026

2024年度 地域循環共生圏とは

2025年度 中間支援のあり方

2026年度 「地域循環共生圏づくりの成果と 中間支援の取組評価」 ⇒活動評価手法検討業務と関連づけ



地域循環共生圏づくり支援セミナー 2024
環境とともに地域の経済（なりわい）・社会（人々の暮らし）
をつなぐ地域循環共生圏づくりとは

ライブ配信：2025年1月27日（月）13：45～（16：15 頃終了）

- ・EPO 中部ウェブサイトから自由に YouTube 配信を視聴できます。
▶EPO 中部ウェブサイト：http://www.epo-chubu.jp
- ・ライブ配信終了後も、EPO 中部ウェブサイト上の限定公開でアーカイブ配信します。
- ・登壇者へ質問等されたい方は、ライブ配信への zoom 参加をお申し込みください。
▶下記 URL または右の QR コードから zoom へ参加登録をしてください。
【zoom 参加登録】https://us20web.zoom.us/j/8542103497796022n
登録すると「@zoom.us」または「@epo-chubu.jp」のアドレスから登録されたメールアドレス宛てに招待メールが届きます。



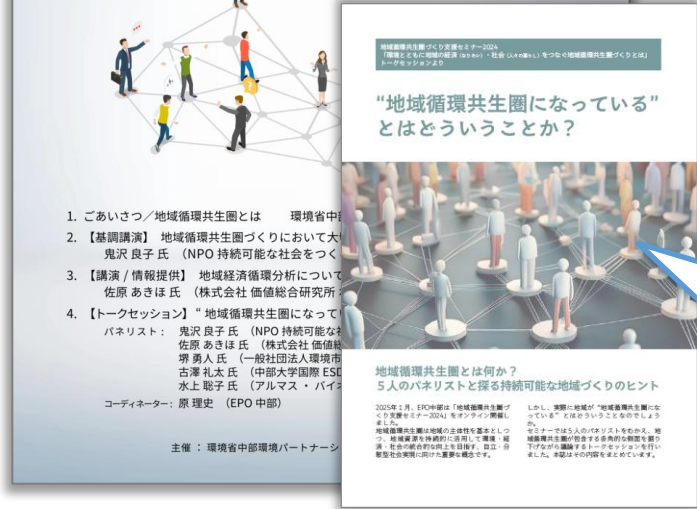
地域循環共生圏づくり支援セミナー 2025
ローカル SDGs の実践とその中間支援
～地域循環共生圏づくりに必要なこと・大切なこと～

ライブ配信：2025年12月5日（金）13：45～（16：15 頃終了）

- ・YouTube 配信を自由に視聴できます。
▶EPO 中部ウェブサイトから視聴
http://www.epo-chubu.jp
- ・ライブ配信終了後もアーカイブ配信します。
- ・前回セミナー 2024 も公開中です。
- ・質問等されたい方は zoom 参加が可能です。
▶zoom 参加登録：
https://us20web.zoom.us/j/8542103497796022n
※EPO 中部ウェブサイトからも登録可能です。
※登録すると @zoom.us または @epo-chubu.jp
アドレスから招待メールが届きます。

プログラム／登壇者等について

- ・ 基調講演案…東京都市大学・佐藤教授による上記テーマの講演
- ・ トークセッション案…3カ年度連続で活動評価検討WKG委員が登壇し、検討内容・結果を発表
- ・ 取組・事例紹介案…活動評価検討WKGの検討結果である活動評価チェックの試行事例関係主体に登壇依頼



「地域循環共生圏になっている」とはどういうことか？

1. ごあいさつ／地域循環共生圏とは 環境省中部環境部
2. 【基調講演】 地域循環共生圏づくりにおいて大鬼沢 良子氏（NPO 持続可能な社会をつくる会）
3. 【講演 / 情報提供】 地域経済循環分析について 佐原 あきほ氏（株式会社 価値総合研究所）
4. 【トークセッション】 “地域循環共生圏になっている” パネリスト： 鬼沢 良子氏（NPO 持続可能な社会をつくる会） 佐原 あきほ氏（株式会社 価値総合研究所） 野村 勇人氏（一般社団法人環境共創イニシアチブ） 古澤 礼太氏（中部大学国際 ESG 水上 聡子氏（アルマス・パブリック）

コーディネーター： 原 理史（EPO 中部）

主催： 環境省中部環境パートナーシップオフィス

セミナーの録画動画と冊子を作成・公開



地域循環共生圏づくりに必要とされている中間支援とは？

1. 【ご挨拶／はじめに】 環境省の地域循環共生圏事業 環境省中部地方環境事務所環境対策課
2. 【基調講演】 地域循環共生圏づくりにおける中間支援のあり方 島岡 未来子氏（早稲田大学リサーチ・イノベーションセンター）

地域循環共生圏づくりにおける中間支援で大切なことをテーマにトークセッションを行いました

2024年度、中部環境パートナーシップオフィス（EPO）は「地域循環共生圏づくり支援セミナー2024」を開催しました。このセミナーは、地域循環共生圏づくりの推進に必要とされている中間支援のあり方について、関係者からのご意見を伺い、今後の活動評価検討業務との連携についてご意見を伺う機会となりました。

主催： 環境省中部環境パートナーシップオフィス

あわせて作成・公開するツール
…本セミナー動画、活動評価チェック項目の考え方等資料、活動評価チェックアプリ等

■ 協働コーディネーター意見交換会

- 協働コーディネーターの去就について：今期の間、1名が辞退（本業引退に伴い、コーディネーターも辞退）、2名が追加。現在、計9名。
- 今年度の意見交換会：7月27日(月)開催
 - － 協働コーディネーターから近況や取組報告
 - － 中部事務所から環境省の施策・事業に関する情報提供
 - － EPO中部から情報提供（支援ツール作成について）
 - － 地域活動の課題感の共有、中間支援のあり方、横展開の可能性等についてディスカッションを実施予定



- 意見交換会で共有された情報、ディスカッションした内容をほかの業務のヒントに
- 協働コーディネーターの取組＝地域循環共生圏づくり／ローカルSDGs実践の事例
- 取組紹介動画を収録して公開

■ 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の選定団体への支援

事業に選定されている団体(3地域6団体)

※①：中間支援主体、②：活動団体

- PF丹南：①ローカルSDクリエーション、②エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま
- PF長野：①長野県NPOセンター、②茅井地区住民自治協議会
- PF半田：①半田市、②半田市地域循環共生圏推進協議会

上記3地域6団体への伴走支援に加えて

- 9～11月：[中間共有会（取組状況の中間報告）](#)をEPO主催でエリアごとに開催
- 3月：新・地域循環共生圏づくり事業（仮称）の[審査会](#)をエリアごとに実施予定

▼審査会に向けて▼

新事業への応募団体の掘り起こしを目的としたヒアリングを実施

主催イベント・会合等(新展開業務)
多様な主体によるコミュニティ創設準備業務

令和8年度の実施内容（案）

令和8年度:創設準備 ~コミュニティの「あり方」の設計

- 有識者検討会の開催（全3回／座談会1回含む）
 - 議論の柱：将来的にEPO中部と並列の立ち位置で事業を担えるコミュニティとはどうあるべきか、その「あり方、体制、連携形態、共有ビジョン」を定義。
 - 実務面の検討：事務局体制や、次年度以降に実施すべきプロジェクトの具体案を練る。
- 有識者検討会の補完調査／現場のニーズ調査と参画呼びかけ
 - ヒアリング：コミュニティ参加主体候補から多様な主体による取組連携のための課題等を聴取。
 - 座談会の実施：検討会有識者と実践者（コミュニティ参加主体候補）を交え、実効性の高いコミュニティ設計を目的とした意見交換を実施。
 - 並行して、環境省の地域循環共生圏づくり事業の応募想定主体の掘り起こしヒアリングを実施。
- 成果物
 - 「コミュニティ創設のための素案」をとりまとめ、事務局機能や創設スケジュールを明確化。



令和9年度:コミュニティ創設及び整備



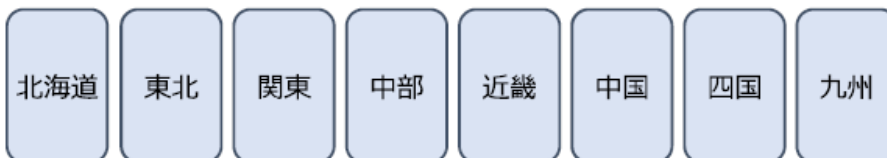
全国・地方単位でそれぞれ基盤を強化

全国単位

- ✓ 共生圏づくりの担い手の属性や取組段階に応じて必要な情報や機会、場を提供する仕組み(全国プラットフォーム)を構築。
 - ・ WEBサイト、SNS等によるターゲットを意識した情報発信
 - ・ 全国を取組を可視化する仕組みの構築
 - ・ フォーラムやセミナー（オンライン／スタディツアー）を通じた学習機会提供
 - ・ アワードや分析ツールとの連携強化
- ✓ 地域循環共生圏の全国的拡大に向け、**共通の課題となるテーマを取り上げ、プロジェクトを実施。**
 - ・ 地域の課題・ビジョンを可視化する、地域版「マングラ」活用プロジェクト（マングラのツール化、研修の開発等）

連携

地方単位

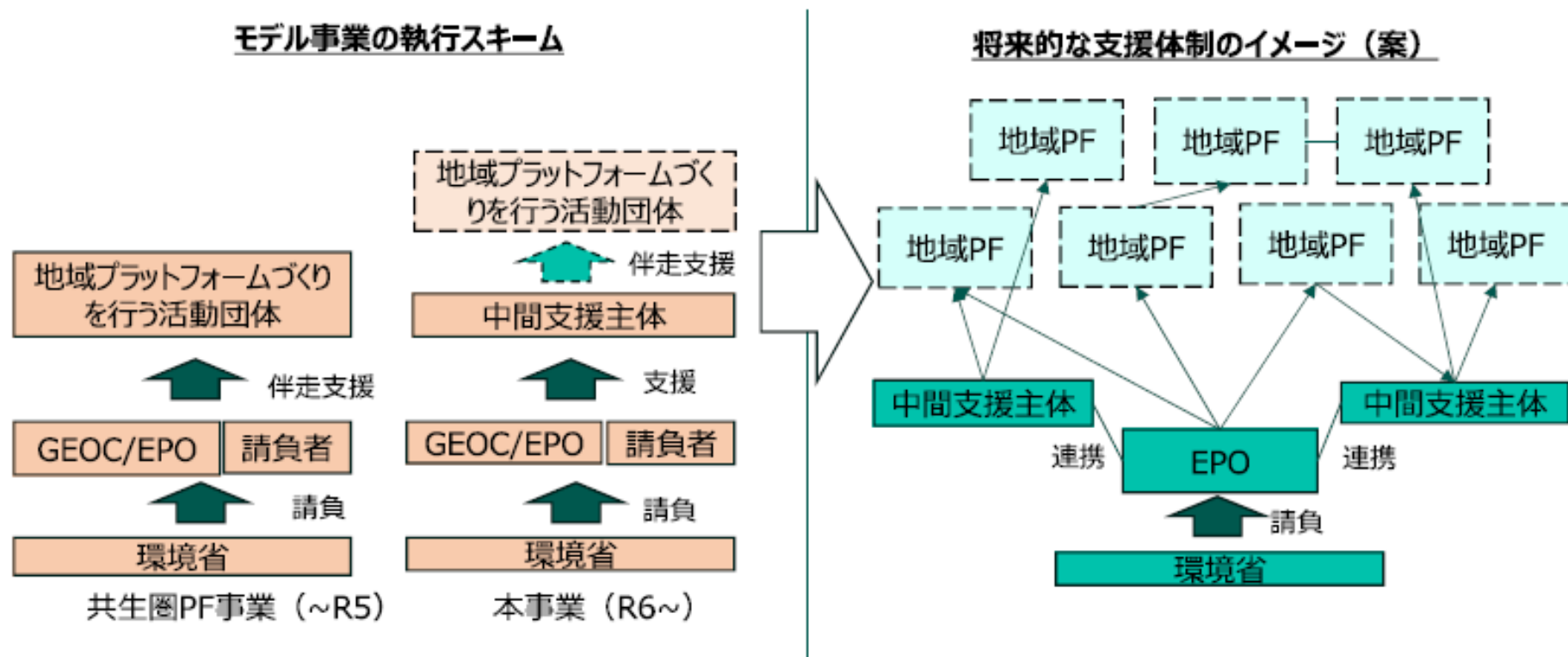


- ✓ 幾つかの地方環境事務所と連携し、地方ブロックごとに
 - ・ 地域のハブとなるような団体・企業等の発掘、ネットワーク（コミュニティ）構築
 - ・ 地域プラットフォーム整備・ローカルSDGs事業創出に対する相談・支援等を行う基盤を構築



【補足】 将来的に創設コミュニティや参加主体はEPOと並列化

- コミュニティ参加主体をEPO中部の対等な「地域循環共生圏づくり支援主体」として位置付け
 - EPOと同じ中間支援機能を発揮：参加主体はEPOからの再委託でなく、直接的に環境省事業を受託するなど、自立した環境省・EPOのパートナーとなることを目指す。
 - 広域的なローカルSDGsの実践：地域課題解決と地域資源活用、CN・SE・NPの統合的展開、ウェルビーイング実現による中部エリアの「共進化」を牽引するコミュニティを目指す。



主催会議・会合等／独自ツール構築 活動評価手法検討

ローカルSDGs活動評価とそのための中間支援機能の評価

有識者によるワーキンググループにより、地域循環共生圏づくりの活動の評価手法を検討する

古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局長
 水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表
 堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)事務局長
 原 理史 中部地方ESD活動支援センター、中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員

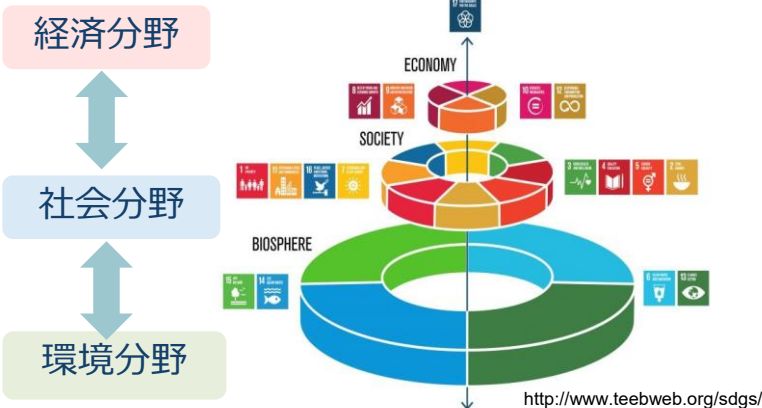
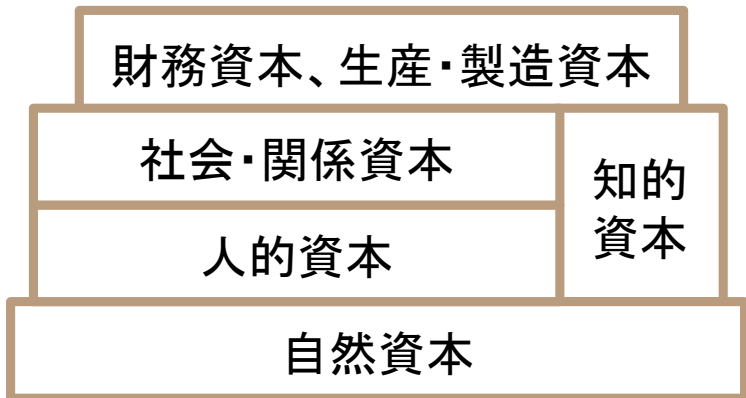
【オブザーバー】環境省 中部地方環境事務所環境対策課
 【事務局】清本三郎 中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部) 統括

	EPO中部としての活動評価の枠組み整理	ローカルSDGs活動評価の枠組み構築	中間支援機能評価の枠組み構築
令和6年度 (成果)	評価の意味、評価の目的を整理 <ul style="list-style-type: none"> ローカルSDGs活動評価の価値基準 達成度評価、貢献度評価、成長度評価の分類とこれまで開発した評価、可視化ツールの位置づけ 6つの資本への貢献をベースにしたツール開発 	ローカルSDGs活動評価の枠組み構築とチェックリスト案の作成 <ul style="list-style-type: none"> 協働コーディネーター茶木氏の活動2事例について試行 	
令和7年度 (成果)	ローカルSDGs活動に対する中間支援機能の枠組み整理 <ul style="list-style-type: none"> ローカルSDGs活動に対する中間支援機能の意義の検討 協働ガバナンスモデルとチェンジエージェント機能の導入 	ローカルSDGs活動評価チェックリストの実用化 <ul style="list-style-type: none"> JICA研修での記入活用 SDGs学生サミット話題提供2題についての分析とチャート化 	協働ガバナンスモデルに基づく評価要素の洗い出し <ul style="list-style-type: none"> 「見立て」、「座組み」、「打ち手」のモデルにおける位置づけ チェンジエージェント機能としての打ち手の行動分解 中間支援機能の行動項目リスト抽出
令和8年度 (目標)	活動評価手法検討のまとめ	ローカルSDGs活動評価の枠組みとチェックリストのアプリ化	中間支援機能の評価チェックリストの構築

【補足】これまでの成果の一部

【六つの資本の積木に基づくローカルSDGs活動評価】

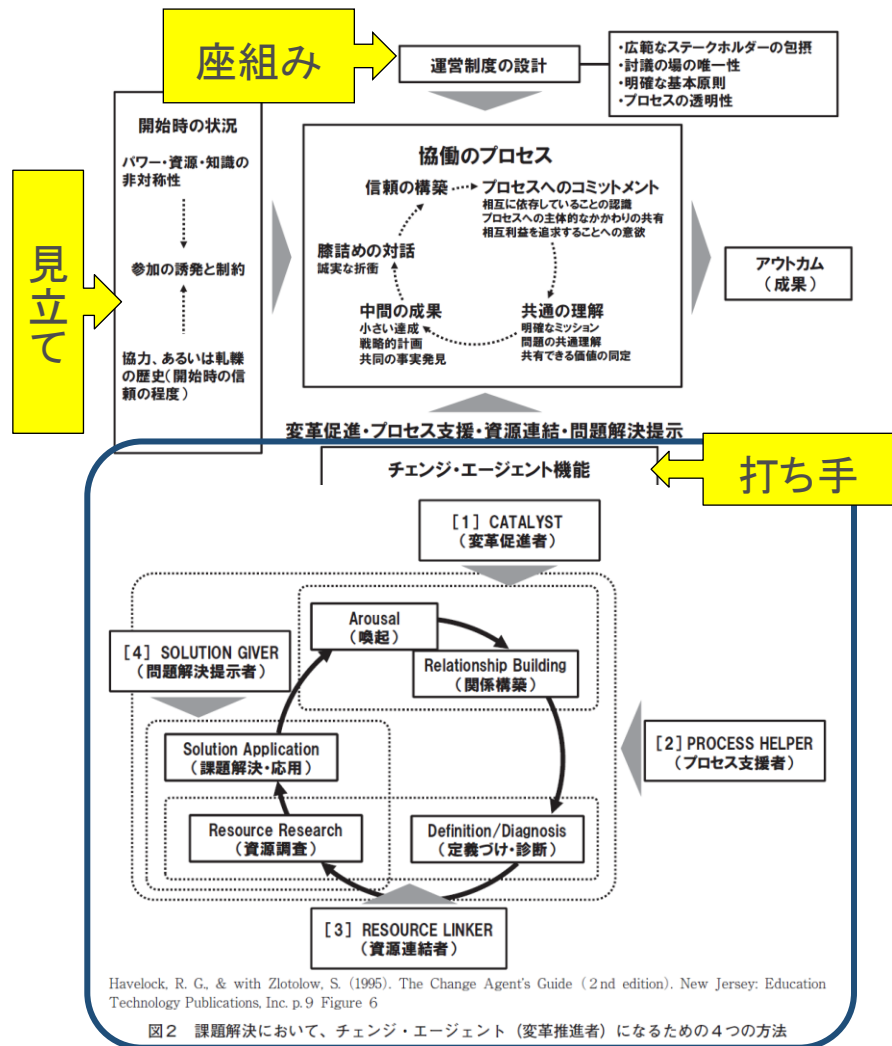
- 崩れない資本のバランスが持続可能性と強靱性にとって重要
六つの資本の積み木



- その取組は地域循環共生圏に貢献する資本増加に繋がるのか、チェックリスト項目

六つの資本	評価項目の例
1 財務資本 (地域循環 財務資本) 地域内での経済循環になっているか	● 地域にお金を落とす ● 地域への投資
2 製造資本 (地域循環 生産・製造資本) 地域資源・エネルギーが持続可能な形で使えるようになっているか	● 地産地消 ● 資源循環 ● 再生可能エネルギー ● 防災・減災
3 知的資本 (地域共生 知的資本) : 地域の文化、知恵などが生かされているのか、水準の高い知見が用いられているか	● 教育 ● 住民自治 ● 伝統的文化・知恵 ● 高等知見 ● ICT活用
4 人的資本 (地域共生 人的資本) : 地域の多様な人々が共生できているか	● 主体的・意欲的な人 ● 愛着・誇り・責任感のある人 ● 包摂社会
5 社会・関係資本 (地域共生 社会関係資本) : 地域の繋がり・コミュニティづくりにつながっているか	● 対話型の議論・交流 ● 相互信頼 ● 公正 ● 共助
6 自然資本 (地域循環共生 自然資本) : 地域の自然・生物多様性が守られているか	● 生物多様性 ● グリーンインフラ・景観の向上 ● 脱炭素 ● 自然資源 ● 農地・漁場の持続可能な利用

【協働ガバナンスモデルに基づく中間支援機能評価】



出典: 企業・行政・NPO間の協働における中間支援組織の役割と機能 -川崎市産業・環境創造イノベーションセンターを事例として- (島岡、佐藤: 2014)

そのほか
ツール作成・公開／ヒアリング／相談対応など

協働コーディネーターの取組支援ツール（2種）

映像資料

ローカルSDGs実践取組動画

- 協働コーディネーター3名によるローカルSDGs実践の取組紹介動画を2025年度に【第1弾】を収録・公開。
- 2026年度も、ほかの協働コーディネーターによる取組紹介動画【第2弾】【第3弾】を収録・公開予定。

2025年度に動画【第1弾】公開にあわせて作成・公開したA4チラシ↓

EPO 中部・協働コーディネーターによる
ローカルSDGs 実践事例と中間支援の取組事例を紹介！
中部のローカルSDGs 実践事例集 2025

活動地域	取組事例/演題	団体	登壇者	取組紹介
長野県	登州里をもっと楽しく！ いもいりピンクラぼの取組と 中山間地活用のススメ	認定特定非営利活動法人 長野県NPOセンター	吉田 喜美夫	
福井県 丹南 エリア	山・海・里・食から生まれる サステイナブル・ツーリズム・ ビレッジしらやま	[活動団体] エコ・グリーンツーリズム 水の里しらやま [中間支援主体] 合同会社 ローカルSD クリエーション	森 和恵 三田村 佳政	
長野県 松本エリア	子どもたちがもっと元気に 輝く地域に	特定非営利活動法人わおん 特定非営利活動法人えんのわ	山田 勇	

ローカルSDGs、地域循環共生圏づくり、中間支援について概説したセミナー動画も公開しています。

ローカルSDGs、地域循環共生圏づくり、中間支援について
<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/34087.html>

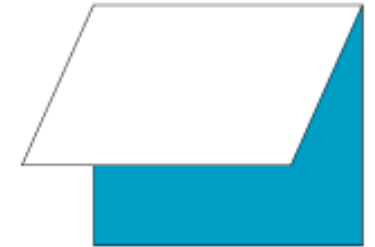
EPO 中部・協働コーディネーターについて
<https://www.epo-chubu.jp/tool/coordinator>

制作・配信・発行：
Environmental Partnership Office Chubu
EPO中部
環境省中部環境パートナーシップオフィス

協働コーディネーター紹介ツール

全ての取組紹介動画の公開にあわせて

- 協働コーディネーターとその取組（動画）を紹介する印刷物を作成。
- 名刺サイズのカード（二つ折りまたは三つ折り）を想定。
 - 協働コーディネーターが名刺と一緒に配布できるもの。



↑二つ折り



←三つ折り

活動評価手法検討WKGの成果まとめ：活動評価チェックアプリの作成・公開

- 3カ年度かけて構築した地域循環共生圏づくりの「活動、中間支援の取組評価チェック」のアプリ化、及びその公開を予定。
- 「官民連携コミュニティ創設」業務での活用：創設コミュニティ参加主体による自己チェック→チェック結果をローカルSDGs実践取組紹介動画とあわせて、参加主体のプロフ&ポートフォリオとして公開。
 - 将来的にはA I等活用し、協働マッチング用のデータとしての活用
 - 地域循環共生圏づくり／ローカルSDGsや中間支援、及び創設コミュニティの具体事例として、専用サイトで公開（検索システム導入）など

→ 試作した活動評価自己チェックアプリ (Google AI studio使用)



①活動内容・自己評価をオンライン入力



②自己評価（活動による六つの資本への貢献性）を可視化

③活動内容・六つの資本への貢献性をAIが評価

AIによる自動評価を生成

④入力～評価結果をダウンロード

→ 評価結果のアウトプット (PDFダウンロード可能の設定)



【想定】⑤官民連携コミュニティのサイトでプロフ&ポートフォリオとして公開

そのほか

■ 連携・協力①：外部資金を活用した事業

(独)環境再生保全機構(ERCA)との連携業務 <https://www.erca.go.jp/>

- 【昨年度業務】 持続可能な地域実現に向けた戦略検討業務
- 【今年度業務（予定）】 地域価値共創に向けた環境NPO機能検討業務
 - ・ 環境NPO機能の通説の妥当性または他セクターが担う領域となったことで環境NPOとしての独自性が薄れてきた機能、通説には存在しない新たな機能などを地域現場の取組を通じて実証する。
 - ・ 環境NPOの機能を強化するうえで基金／EPOが実施すべき支援策（資金・非資金）を検討する。

愛知県環境学習コーディネート業務

※ 愛知県からの受託業務 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000060443.html>

- ・ 環境学習に関する学校等からの相談・照会依頼に対する相談対応、コーディネート業務を実施。

■ 連携・協力②：高校生インターンの受け入れ

- 高校のインターンシップ・プログラムに協力し、夏休み3日間、高校1年生の職業体験を受け入れ予定（今年度で5年目）。
 - 昨年度は、地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の参加団体・半田市地域循環共生圏推進協議会の関係施設取材した記事をインターン生が作成。
 - 記事はEPOウェブサイトで公開。<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/31986.html>



今年度は

下記3つの施設の取材と記事作成をインターン生に依頼予定

- EPO中部の新オフィス（名古屋市中区／最寄り駅：名古屋城）
- 愛知県環境学習プラザ（名古屋市北区／最寄り駅：上飯田）
- 名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」（名古屋市中区／最寄り駅：伏見）

※後日、作成記事をEPOウェブサイトで公開

EPO中部オフィスの移転と第2回運営委員会について



▼▼▼
第2回運営委員会はハイブリッド開催
リアル会場として、EPO入居の新しい庁舎
「[名古屋第4地方合同庁舎](#)」内の会議室で開催を予定